

2012年3月期 第3四半期(累計)概要

2012年2月10日

証券コード:4793

株式会社富士通ビー・エス・シー

1. 第3四半期の総括



(単位: 百万円)

	11/3Q累計	10/3Q累計	前年 同期比	11年度予想
売上	22,192	22,666	△ 2.1%	30,000
営業利益	1,321	1,563	△ 15.5%	2,000
経常利益	1,337	1,609	△ 16.9%	2,020
純利益	345	861	△ 59.9%	720

売上: 通信キャリア向けのシステム開発及びパッケージ販売が伸び悩み

利益: 一部高原価プロジェクトの発生や人件費などが増加。さらに法人税引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩し分計上などにより、四半期純利益が減益

2. 通期業績予想の修正に関して

- 国内景気の不透明感を背景に、新規のIT投資の縮小・先送りが予想以上に継続していること及び一部高原価プロジェクトが発生していることから、売上高、営業利益、経常利益について前回予想を修正
- 当期純利益については、法人税率引き下げに関する法律が公布されたことに伴い繰延税金資産の一部取り崩し(421百万円)が発生したことも加わり、前回予想を修正
- 配当予想(期末1株あたり13円50銭。中間配当金と合わせた年間配当金27円)に変更はなし

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考)前期実績 平成23年3月期
売上	30,800	30,000	△ 800	△2.6%	30,870
営業利益	2,330	2,000	△ 330	△14.2%	2,322
経常利益	2,370	2,020	△ 350	△14.8%	2,365
当期純利益	1,330	720	△ 610	△45.9%	1,275
一株当り 当期純利益	112円71銭	61円01銭	—	—	108円06銭

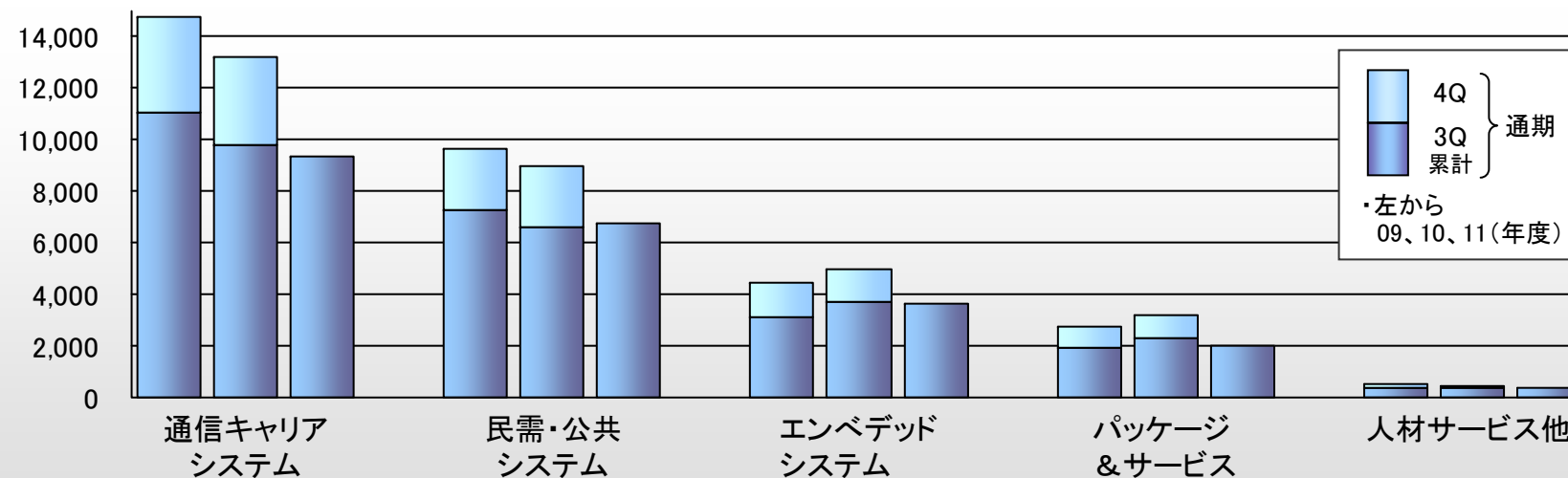
3. 事業区分(本部)別の売上状況



(単位:百万円)

決算期	10/3Q 累計		11/3Q 累計			10年度実績	
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比
合計	22,666	100.0	22,192	100.0	△ 2.1	30,870	100.0
通信キャリアシステム	9,768	43.1	9,390	42.3	△ 3.9	13,221	42.8
民需・公共システム	6,592	29.1	6,790	30.6	3.0	9,006	29.2
エンベデッドシステム	3,678	16.2	3,657	16.5	△ 0.6	5,008	16.2
パッケージ&サービス	2,270	10.0	1,990	9.0	△ 12.3	3,163	10.2
人材サービス他	357	1.6	362	1.6	1.6	469	1.5

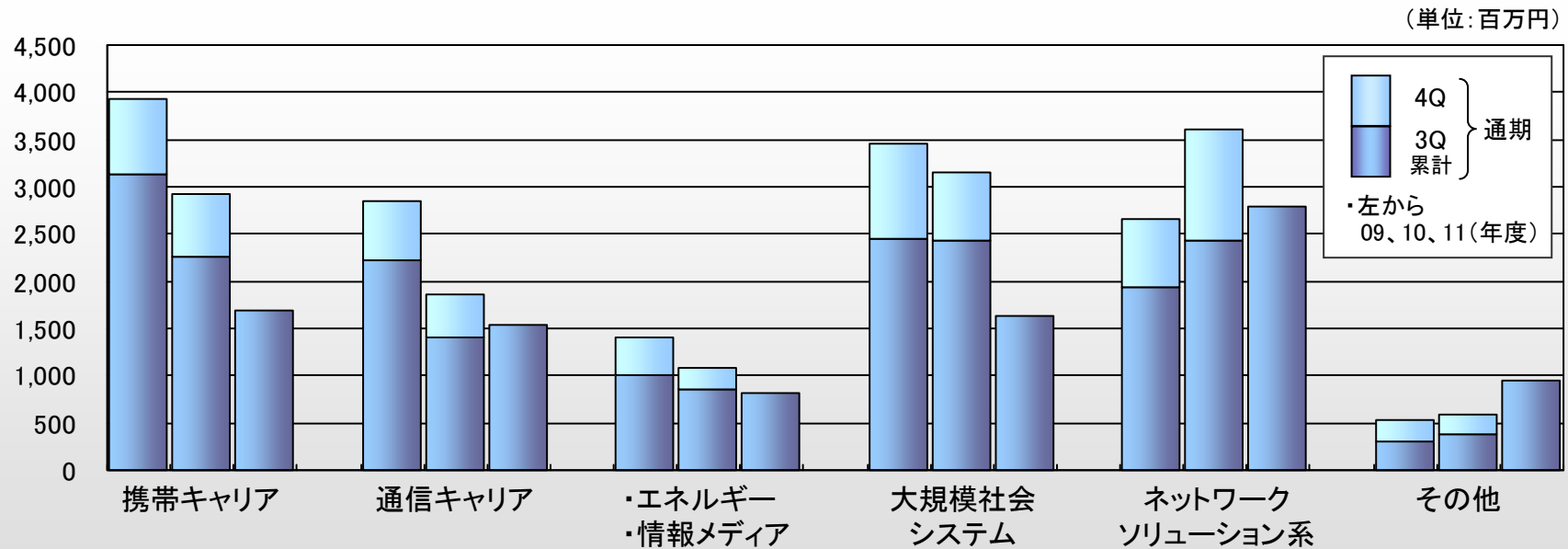
(単位:百万円)



※10年度に事業区分の見直しを行っており、それ以前の数値は一部を組み替えている

3-1. 通信キャリア系システム<業態別売上>

売上実績



※10年度に事業区分の見直しをしており、それ以前の数値は一部を組み替えている

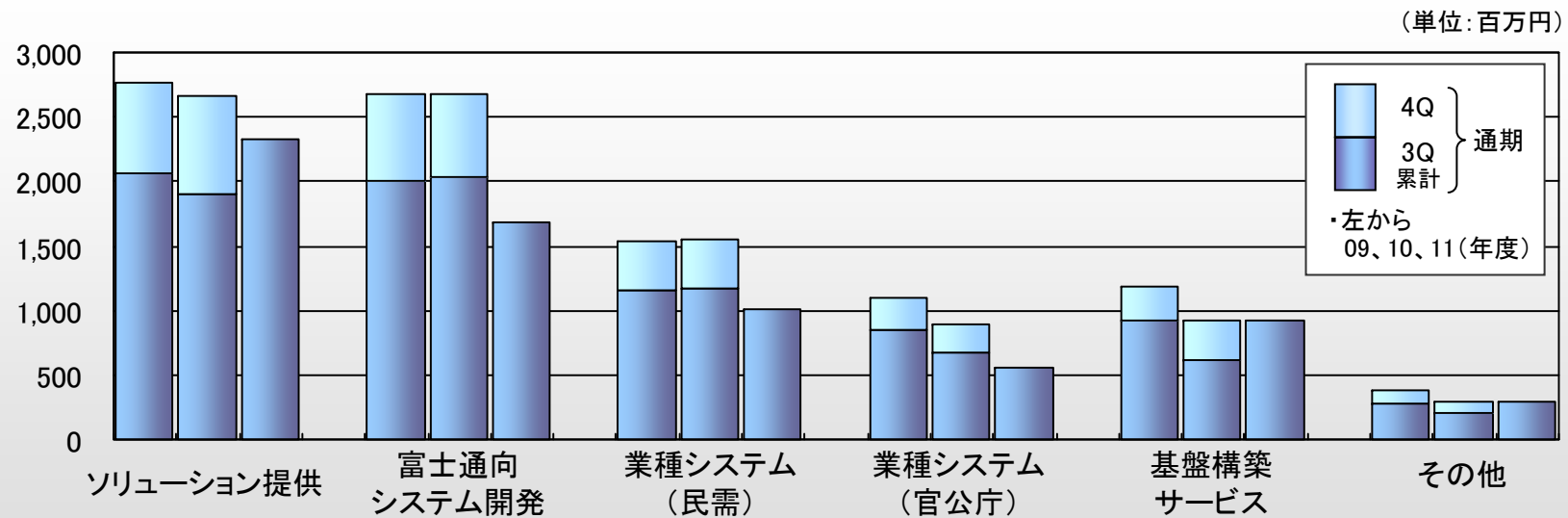
- ・携帯キャリアは大規模SIが一巡。ノウハウを活かせる他分野へ展開
- ・大手通信キャリアの法人データシステムをTopjax Solutionにより開発。同社内システムへ横展開を図るとともにメンテナンスや派生商談を取り込み
- ・ネットワークソリューション系はスマートビジネス等にも期待

※ Topjax Solution: 富士通の開発フレームワーク

3-2. 民需・官公庁系システム<重点テーマ別売上>



売上実績



※10年度に事業区分の見直しをしており、それ以前の数値は一部を組み替えている

《ソリューション提供》

スマートデバイス活用や建設(CAP21)、医療、製薬など得意分野の深化

《その他》

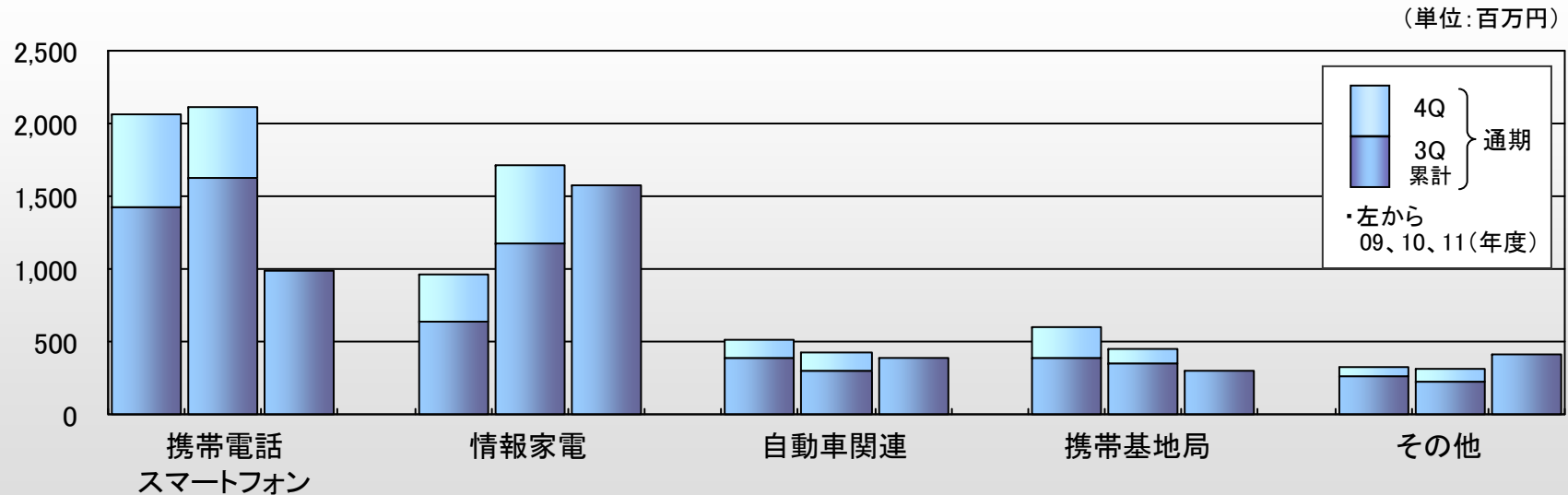
- ・富士通/富士通グループ連携ビジネスの維持・拡大
- ・JETBIの富士通での適用事例(富士通レファレンスモデル)を横展開

※ CAP 21: 建設業向けERPソリューション

JETBI : データ可視化による対話型高速情報活用システム

3-3. エンベデッドシステム<カテゴリー別売上>

売上実績



《携帯電話分野》

携帯電話からスマートデバイスへシフト。開発ボリュームは減少

《情報家電》

ニコングループとの合弁会社などが順調に事業拡大

《その他》

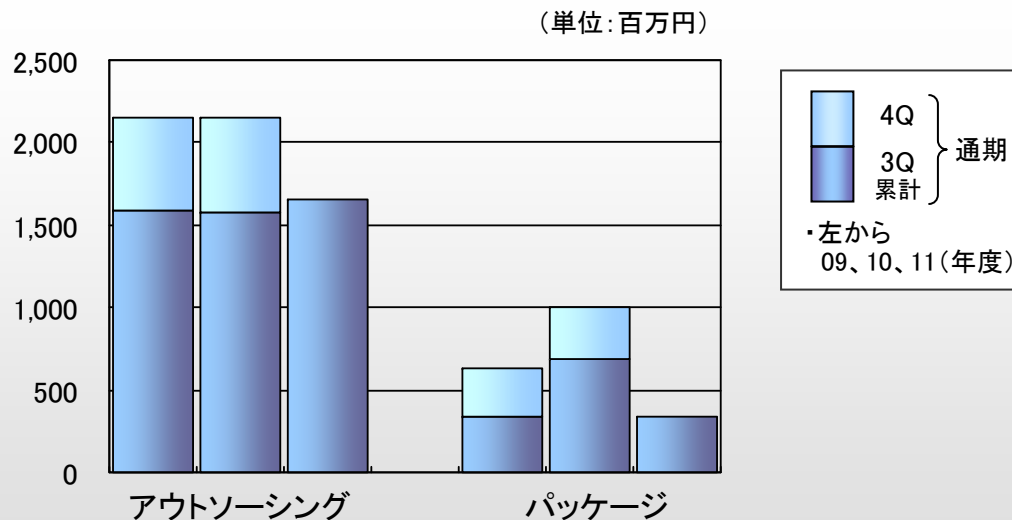
新しい分野やアライアンスパートナーの開拓により事業拡大

■ 中国子会社の活用により品質とコストを両立、競争力を強化

3-4. パッケージ & サービス <製品・サービス別売上>



売上実績



※10年度に事業区分の見直しをしており、それ以前の数値は一部を組み替えている

《パッケージ販売》

情報セキュリティ『FENCE』シリーズについては、従来型のPC向けは伸び悩むが、
FENCE-MobileRemoteManagerなどのスマートデバイス向け製品に期待

《アウトソーシング》

データセンターを中心としたサービスが堅調

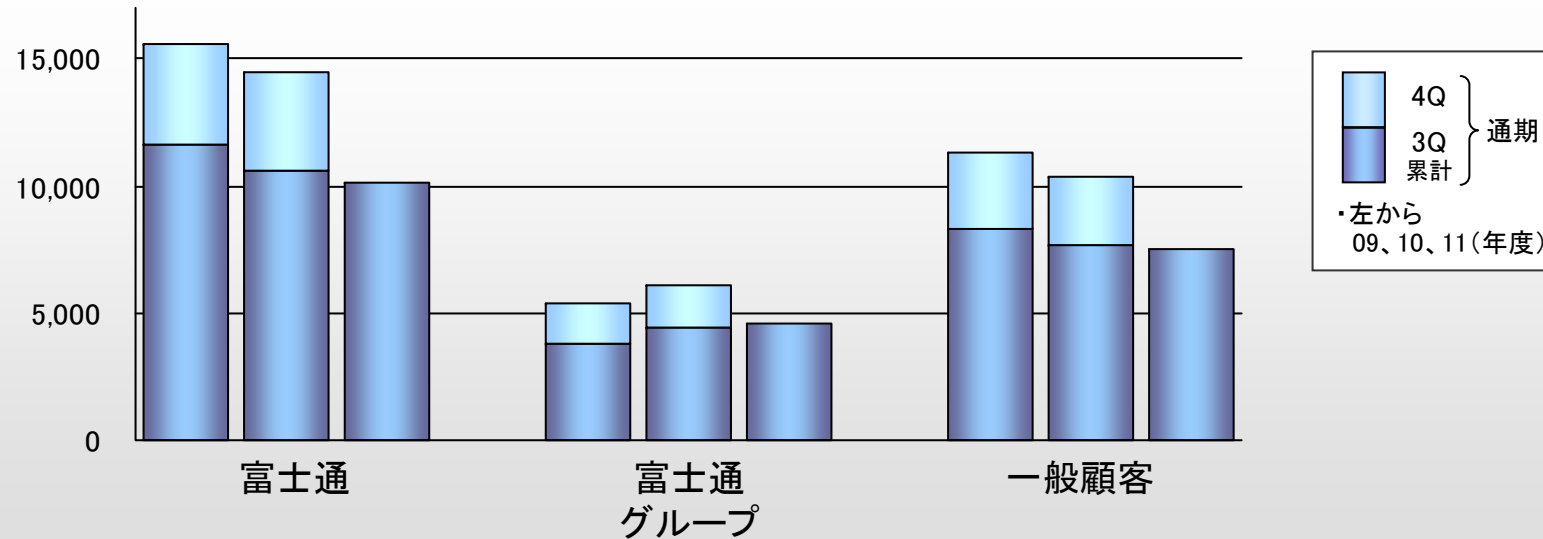
4. 顧客別売上

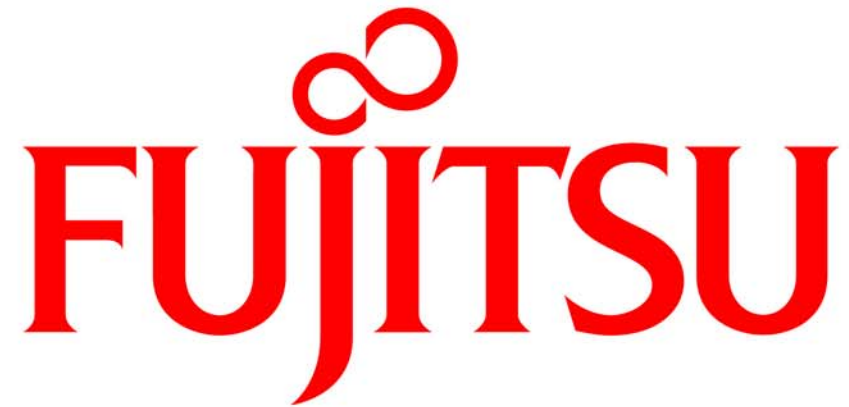


(単位: 百万円)

決算期	10/3Q 累計		11/3Q 累計			10年度実績	
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比
合計	22,666	100.0	22,192	100.0	△ 2.1	30,870	100.0
富士通	10,559	46.6	10,147	45.7	△ 3.9	14,438	46.8
富士通G	4,461	19.7	4,566	20.6	2.4	6,059	19.6
小計	15,021	66.3	14,713	66.3	△ 2.1	20,498	66.4
一般顧客	7,644	33.7	7,478	33.7	△ 2.2	10,371	

(単位: 百万円)





shaping tomorrow with you

《本資料に関するご注意》



本資料の目的は、当社への理解を深めていただくための一般的なIR情報を提供することで、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、情報利用者ご自身の判断に基づいて実施願います。

提供情報のうち、将来の業績等に関する見通しは歴史的事実ではありません。資料作成時における一定の前提に基づいて作られていますので、実際の業績は多様な不確定要素により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。

また、掲載情報については細心の注意を払っていますが、内容についていかなる保証を行うものではなく、本資料の情報を使用したことによって生じたあらゆる障害や損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

【商標について】記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。